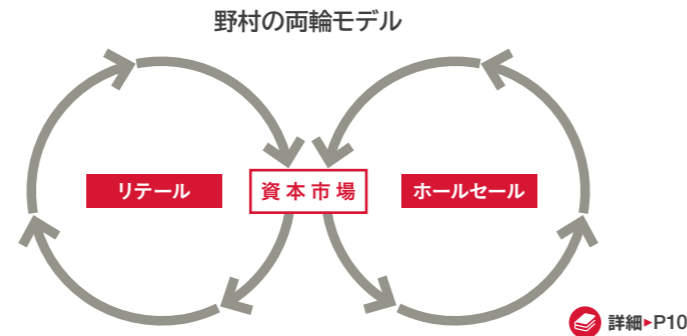




## 世界に類を見ない両輪モデル

野村の強みの源泉は、リテールとホールセール両輪モデルによるシナジーにあります。当社は、もともと日本で盤石なリテールの基盤を有しており、その強みの上に、独立系の優位性を活かしたホールセールの併営することで、リテールとホールセールの「両輪モデル」を築き上げてきました。発行体である法人のお客様からは、野村の提案力と強力な販売力を高く評価していただいております。また、個人のお客様からは、セールスのコンサルティング



グ力に加えて、引受による豊富な商品供給力を評価していただいております。これを背景に、2018年3月末の当社の営業部門顧客資産残高は118

兆円、また、日本関連ECM、日本関連M&Aリーグテーブルでいずれも1位(出所:トムソン・ロイター、期間:2017年4月~2018年3月)と、国内No.1の座を堅持しております。

1

他社にない当社の特徴は、日本を「マザーマーケット」と位置づけ、グローバルに事業を展開している金融サービスグループであるという点です。当社が日本で成功を収めたリテールとホールセールの両輪モデルは、いずれアジアでも実現できるとみています。アジアでは、既に香港、シンガポールを中心に富裕層向けビジネスを展開しており、また、タイやフィリピンでもリテール・ビジネスを行っています。

一方、欧米のホールセールにおいては、強みのあるビジネスへ注力し、

特に米国では一部セクターにおいて高い専門性、豊富な経験・リレーションを持つバンカーを追加採用することで、グローバル体制の整備・拡大を行っています。アジア・欧米の間のビジネス機会は今後ますます

増える傾向にあるとみており、当社はさらなるクロスボーダー案件の獲得のため、引き続きM&Aアドバイザー、顧客ファイナンス&ソリューションをはじめとした、幅広い商品・ソリューションを提供していきます。



2

## Connecting Markets East & West

3

## 人材の多様性

会社の持続的な成長を支える上で重要な鍵となるのは、人材です。現在、野村グループには、世界の30を超える国々で約28,000人の社員が働いており、その国籍は約90カ国に及びます。多様化するお客様のニーズに対応するためには、さまざまな年齢、性別、国籍の人材が、そのバックグラウンドを活かして新たな付加価値を創造し続けていくことが重要となります。

当社は、すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう、働き方改革

と健康経営推進に関する取り組み(Nomura Work Style Innovation)のほか、女性社員のキャリア形成支援やライフイベントとの両立支援などの取り組みを行っています。また、2016年には、グループ全体で多様な社員を活かす職場環境を形成するという強い意志のもと「野村グループ・ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を、2017年には家族の介護に直面した社員が安心して働き続けることができる職場づくりに取り組むために「NOMURAの仕事と介護の両立支援宣言」を採択しました。

世界30カ国以上の拠点の役員数

**28,048名**  
(2018年3月時点)

グループ役員員の国籍

**約90カ国**  
(2018年3月時点)